

新春2020 インタビュー

業界をリードする
関連企業の戦略を聞く

ゴルフ場様にとって最適なプランを プロデュースします

三和コンピュータ株式会社

昭和46年の創業以来、長年ゴルフ場システム界をけん引してきた三和コンピュータ株式会社。NECグループの強みを活かし提供するトータルソリューションは、ゴルフ場からの信頼も厚い。新時代「令和」を迎え、来るべき新時代へ向けての方向性や戦略を、同社ソリューション事業本部部長代理中島淳氏に話を聞いた。

——早速ですが、2019年はどのような年でしたか？

中島 おかげさまで忙しい1年でした。元号改正、軽減税率などの大きなイベントがあり、当社が2018年11月に発売した「Approach X (テン)」がそれらに対応するシステムでしたので、多くのゴルフ場様に導入して頂きました。

——特長を教えてください。

中島 イメージ的には、当社の「A

pproachシリーズ」のマイナーチェンジ版になります。簡単に特長を申し上げますと、Windows10に対応、自社WEB予約機能標準搭載、軽減税率対応、日付の西暦化(和暦切り替え可能)、便利分析機能、そして、直感的に操作できる画面にするためにボタン、文字サイズ、フォントを変更し、見やすく使いやすいデザインとなっております。

また、2020年1月にはWindows10のサポートも終了予定ですので、Windows10対応を進める必要があります。さらに、消費税の軽減税率は分けて表示しないといけません。それらを考慮し、まもなくしてWindows10対応版として、リリースさせていただきます。ゴルフ場様に對しても早い時期からアナウンスし準備してまいりました。

——それでは、大きな混乱もありま

せんでしたか？

中島 基本的にはそうですね。ただ、「Approach X」に入れ替えていただくことが推奨ではあったのですが、既存システムをお使いのお客様の要望にもお応えできるようモデルも開発し、いわば2本立てでの対応になりました。ですので、嬉しい悲鳴なのですが、多くのゴルフ場様からのオーダー時期が集中し、タイムラグなど時間的な意味でも、運用面でもご迷惑をおかけしたゴルフ場様もありました。

——大型のシステム開発・導入もあつたとお聞きしています。

中島 はい。3年ほど前から大手グループ会社さんと組みプロジェクトを進めてきましたが、やっと、ひと区切りがつかまりました。

本日は詳しく申しあげたいのですが(笑)、プレスリリースが12月を予定しているため(編集注・インタビューは11月下旬)、楽しみにお待ちしております。いづれにしても、区切りはつきましたが、今後も進化していきますし、汎用性も持たせ、他のゴルフ場様運営のお役にも立ちたいと考えております。

キーワードは

省力化・少人数運営



——期待しております。ゴルフ業界にとっては明るい話題もいくつかありました。

中島 そうですね。昨年申し上げたように、プラットフォームに基づく大幅ルール改定はゴルフ業界にとって追い風になったのではないでしょう。今では、プロの中継でもピンを差したままのバッテリーは普通の光景となりました。新しいゴルフアの創出には、垣根を取る、あるいは低くすることが不可欠ではないでしょうか？

そして、プロゴルフと言えば、渋野フイーバーや「ZOZOチャンピオンシップ」のギャラリー数と盛り上がりは記憶に新しいですね。新時



本業事業部
ソリューション
部長 代理
氏 淳
ソリ
本部
中島

代の到来を感じました。

また、ZOZOチャンピオンシップは悪天候の中の開催でしたが、2019年も台風を始めとする自然災害に苦しめられました。被害にあわれたゴルフ場様、関係者様には、この場をお借りして、改めて心からお見舞い申し上げます。

ラグビーワールドカップが、大成功を取りましたが、ぜひゴルフも2020年オリンピックに向けてさらなる注目を浴びるよう期待しております。

——ところで、ゴルフ場・ITにとつて注目すべきキーワードはなんですか。

よう？

中島 やはり省力化だと思えます。人材不足の波はおさまらないでしょうし、少子高齢化の解決策がない以上、むしろ加速化すると思われれます。ですから、少人数運営に直結する自動精算機、GPSナビなどの周辺機器、一元管理などのシステム、サービス、そして今後はAIなどの需要が高まるでしょう。ただし、AIはビッグデータが揃ってこそ本領を發揮します。

——ゴルフ場で活躍するのは少し先の話かもしれませんね。

中島 いずれにしても、人材を育て、そして確保することは日本全体の命題とも言えますが、同時に省力化、少人数運営の体制を整えることも重要課題でしょう。例えば、当社が数年前から提唱しているファストチェックインもその一つです。朝夕のフロント業務を最小限の人数で、ゴルフアーにストレスを感じさせず行うには、簡素化するしかありません。認証には、カード、指紋、静脈などがありますが、当社が実用に向けて進めているのは、顔をキーとした顔認証です。なぜなら、NECの顔認証システム技術は世界一であり、東京2020オリンピック・パラリンピックではNECがゴールドパートナー

ナー（パブリックセーフティ先進製品&ネットワーク製品）になっていきます。この東京2020では30万人ともいわれる大会関係者の本人確認を顔認証で管理するそうです。

ゴルフ場様には、単なるチェックインだけでなく、ハウス内外での認証技術を活用した仕組みで人材不足なども解決できるソリューションを提供していきたいと思っています。

さまざまな問題を高い技術力でサポート

——2020年の戦略・方向性などありましたら教えてください。

中島 まずは、先に申し上げた大手グループゴルフ場様との共同事業の地盤を固め、かつ、開発した商品やサービスを共有することでゴルフ業界のお役に立つことができれば幸いです。

後はWEBでの発信を改めて整備し、ホームページも刷新したので引き続き強化していきたいですね。また、公式フェイスブックも始めましたが、「いいね」をもらうのは簡単ではないですね（笑）。継続は力なりですので、こちらもお客様にリアルタイムでお役に立つ情報を発信し続けていきたいと思っています。

2018年より取引先様や社員、

一般の方々も含め、当社のイメージを統一する目的として、「総・ICTワンストップサービス」「匠・ICT技術力」「和・生活と仕事の調和」をテーマに掲げております。このような広報活動にも更に力を注いでいきたいと思っています。

——最後にゴルフ場にメッセージをお願いします。

中島 今後もゴルフ場様が抱える様々な問題を解決するお手伝いをしていきたいと思っています。

今年からワールドハンディキャップとして、世界統一ハンディキャップとなります。こういった変革時に順次対応できるよう今後も高い品質のトータルソリューション力を活かし、ICT（利用技術）ワンストップサービスを提供してまいります。引き続き2020年もよろしくお問い合わせ致します。

——本日はありがとうございました。

（問い合わせ）

三和コンピュータ株式会社
サービス・パブリックソリューション事業部

サービスソリューション部
〒106-0047

東京都港区南麻布3-20-1

TEL 03(5421)8503

FAX 03(5421)8509

URL: <https://www.sanwa-comp.co.jp>